

質問 49 第二の戒めは 何ですか。

答え I 第二の戒めは「あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水のなかにあるものの、どんな形をも造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎むものは、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守るものには、恵みを施して、千代に至るであろう」です。(出 20:4-6)

1. 第二の戒めは 何ですか。

「あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水のなかにあるものの、どんな形をも造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎むものは、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守るものには、恵みを施して、千代に至るであろう」(出 20:4-6)。

2. 第一の戒めと第二の戒めは どのような差を持っていますか。

第一の戒めは、私たちが、ただ神に礼拝を捧げなければならないことであり、第二の戒めは、礼拝の方法についてのことです。神は、神のみことばの中に私たちが捧げるべき礼拝方法について定めておられます。人間によって考案された方法によって神に礼拝するのを、禁じています。信仰的礼拝は、当然、恵みの神に尊敬を捧げることですが、神に屈服することと、キリストにあって神を信頼する告白と、当然ささげるべき感謝と賛美がなくてはなりません(詩 95:6-

7) 。そのため、神は、ご自分のみことばの中に信仰的礼拝の規定を定めておられます。

質問 51 第二の戒めでは 何が求められていますか。

答え I 第二の戒めが求めているのは 神が ご自分のみことばの中に 定めておられる すべての宗教的礼拝と規定を受け入れ 実行し 純粋かつ完全に保つことを求めています。

1. 神が ご自分のみことばの中に定めておられる 信仰的礼拝の規定は 何ですか。

みことばの中に定めておられる礼拝の規定は、キリストの御名によって祈り、感謝を捧げること（詩 50:15）と、聖書を読むこと、説教と神のみことばを聞くことです。（使徒 10:33）。聖礼典の実行とバプテスマと聖餐を受けることです（I コリント 11:26）。教会政治と懲戒の実行と、それを受けることです。牧会の働きを通して、このような規定が維持され（エペソ 4:11-13）、時には断食をし（使徒 13:1-3）、神に対する合法的誓願を立て、実行することです（申 6:13）。

2. 礼拝の規定を どのように純粋に 守れるのでしょうか。

神が定めておられる礼拝の規定には、権威があるからです。従って、人々がそれを変えたり、人間が考案した方法で混ぜたり、規定を汚染させてはなりません（申 12:32）。規定はあるがままに受け入れ、守ることが求められます。信仰のゆえに規定を施行することによって、純粋に守られます（ルカ 1:6）。第二の戒めは、神に捧げる礼拝を、人間が考案した方法によって変更させたり、汚

すことを禁じているのです。神は、いかなる偽りの礼拝を憎み、忌み嫌われま
す。それは偶像崇拜になります（申 7:5）。

質問 51 第二の戒めでは 何が禁じられていますか。

答え I 第二の戒めが禁じているのは 形を使用して神を礼拝したり 神の
みことばに定めていない 他のなんらかの方法で 神を礼拝することを禁
じています。

1. 十戒の第二の戒めにおいて 最の 何が禁じられていますか。

像や形を作って神を礼拝することです。形というのは、形態を持っていて、
絵によって表現することです。像や形として神を現すことはできないから、
像や形を作って礼拝するのを禁じているのです（イザヤ 40:18）。キリストが
この地に来られて人間の体を着せられたのですが、形として作ってはなりま
せん。形や絵によって、キリストの神性を現すことはできないからです（詩
45:2）。最も、キリストに対して形を作り出すのは、人間が想像力を動員させ
考案したものであり、それは、偶像崇拜に入る道だからです。礼拝において
私たちを助ける方は聖霊さまです。従って、形を使用するのは礼拝と敬虔生
活に全く助けにならず、迷信的に陥るだけです。

2. 十戒の第二の戒めでは 恣意的礼拝方法について なぜ禁じていますか。

恣意的礼拝というのは、神のみことばにおいて定めた方法でなく、他のなん
らかの方法で礼拝することを指します。人々は、傲慢な心と迷信的な考えを持
ち、礼拝の方法を考案し出します。自分たちが作り出した方法を用い、外的に
とても敬虔に見せようとします。バプテスマを授ける時も十字架を使用したり、

聖餐を受ける時に跪いたり、祭壇を作ってその前で、イエス・キリストの御名によってお辞儀をします。勿論、旧約において、イスラエルの民は儀式を順守しました。それは、神の定めたことであり、新約に至っては、キリストの贖いの捧げによって成就され、それ以上、拘束力はないのです（ヘブル 9:1-15）。恣意的礼拝は、教会に偽りの教えを反映させてしまい、敬虔を打ち壊すこととして、第二の戒めでは禁じているのです。（黙 2:14-15、20）。

質問 52. 第二の戒めに 付け加えられた 論証は 何ですか。

答え I 第二の戒めに付け加えられた論証は 神が私たちの主権者となられ 私たちの所有者となられ ただ その方にだけ礼拝することを望まれる からです。

1. 第二の戒めにおいて 形の使用と 恣意的礼拝を禁じている 一番目の理由は 何ですか。

神が、私たちの主権者となられるからです。神は、絶対的な力と権威によって私たちを支配しています（ロマ 9:20-21）。最も、神が良い意図を持って礼拝方法を定めたので、必ず、定められた規定通りに礼拝しなければなりません（申 6:17）。神が定められた方法に従って礼拝を捧げるのは、神を喜ばせることであり、神の主権に屈服して、その方の支配を喜んで受けようとするしるしです（詩 95:2-3）。

2. 第二の戒めにおいて 形の使用と 恣意的礼拝を禁じている 二番目の理由は 何ですか。

神が、贖いによって私たちを所有されたからです。十戒の序言で、神は、「わたしは主、あなたの神、エジプトの国、奴隷の家から導き出した神である」（出

20:2) とはっきり示されました。神は私たちを、キリストの血によって贖い、ご自分の所有とされました（イザヤ 43:1）。従って、私たちは、救い出された神の民として、当然、神が定められた方法通りに、礼拝を捧げなければなりません（ヨシュア 24:24）。

3. 第二の戒めにおいて 形の使用と 恣意的礼拝を禁じている

三番目の理由は 何ですか。

神は、民が捧げる礼拝に対して関心を持っておられ、被造物を礼拝することに対して妬む神だからです（出 34:14）。神は、人々が神を無視したり、敵対したり、礼拝を変更させることについて怒りを発します。ナダブとアビフは、主が彼らに命じなかった異なった火を主の前に捧げ、死にました。（レビ記 10:1-4）。このように神は、ご自分に捧げる礼拝について注意されています。神が定められた礼拝をしない者たちに対して、三代、四代に至るまで報復し、罪に対して審判なさると仰せられました。

4. 神が 民によってご自分に捧げる礼拝に 注目なされる証拠は 何ですか。

神が、民によってご自分に捧げる礼拝に注目なされる証拠は、異なった礼拝に対して裁くことを仰っているからです（エゼキエル 20:18、21）。しかし、神を愛し、戒めを守る者には、千代に至るまで恵みを施すことを約束しておられます。神が彼らに与えようとするのは、力を増し加え（詩 94:18）、慰め（詩 31:7）、導き（出 15:13）、保たせることです（Ⅱサムエル 7:15）。従って、神が定められた方法通りに礼拝を捧げ、怠けてはならず、熱心に礼拝すべきなのです。